

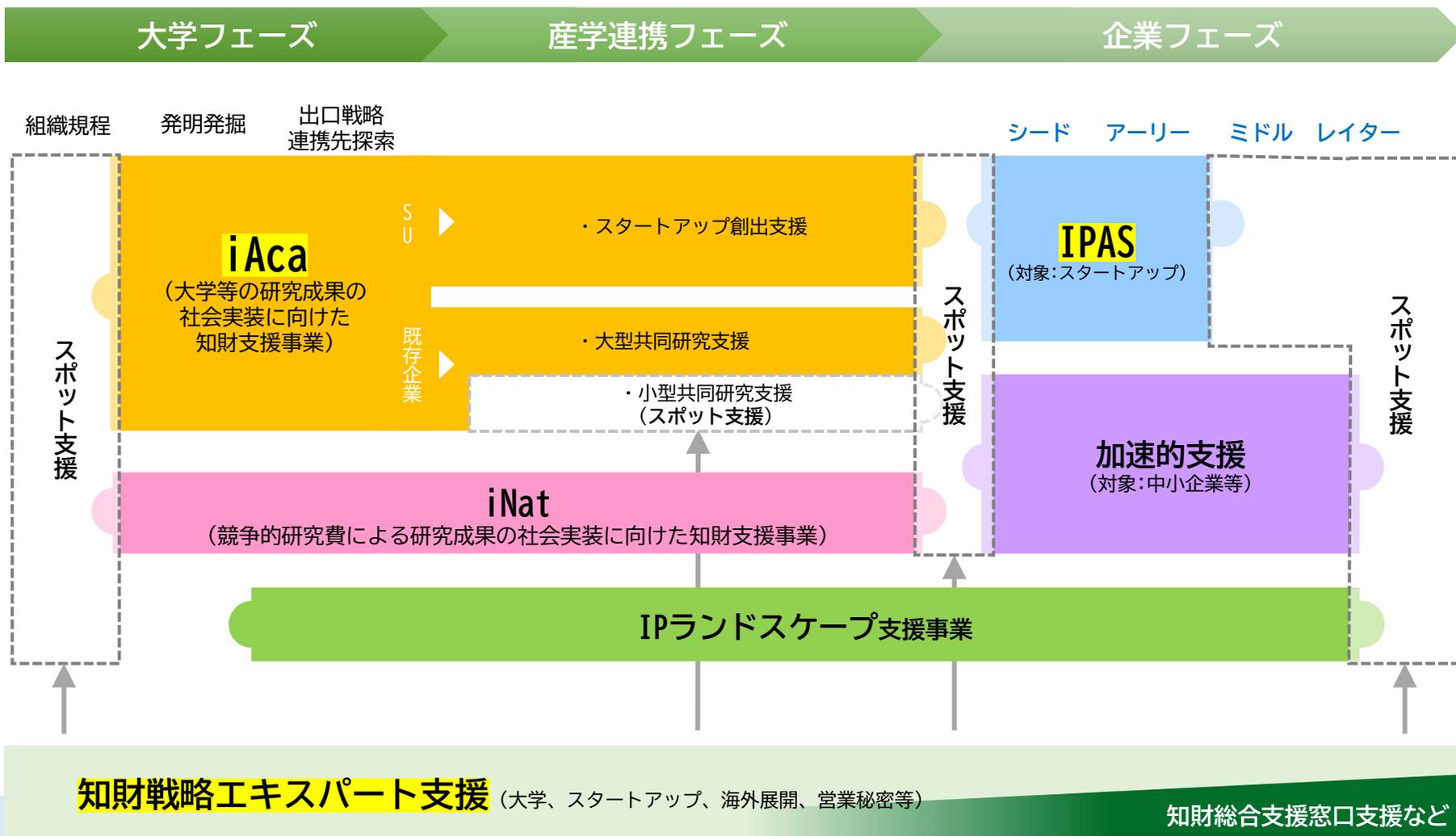
特許庁における大学・スタートアップ支援策について ～知財エキスパート、iAca、IPASを例に～

2024年12月12日

特許庁



シーズから事業化までのシームレスな支援体制



知財戦略エキスパート

- 知財戦略に関する高度な専門知識、経験を有する**知財戦略エキスパート**が支援する**5つの専門窓口**を設置（**相談無料**）
- INPIT知財総合支援窓口や採択型支援、各支援機関とも連携して円滑に支援を提供
- 採択型支援の支援前後も、知財戦略エキスパートが課題解決をサポート

知財戦略エキスパート



海外展開



営業秘密



産学連携



スタート
アップ

- 海外展開知財支援窓口
- 営業秘密支援窓口
- スタートアップ知財支援窓口
- アカデミア知財支援窓口
- 関西知財戦略支援専門窓口



INPIT知財総合支援窓口

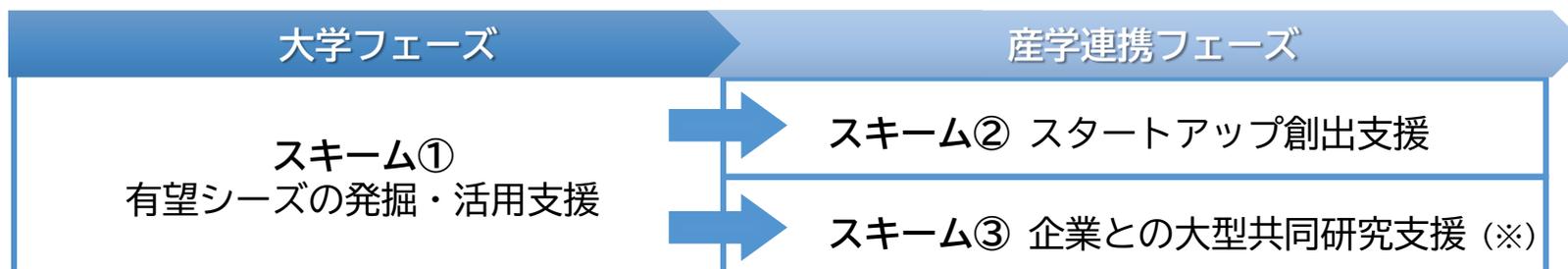
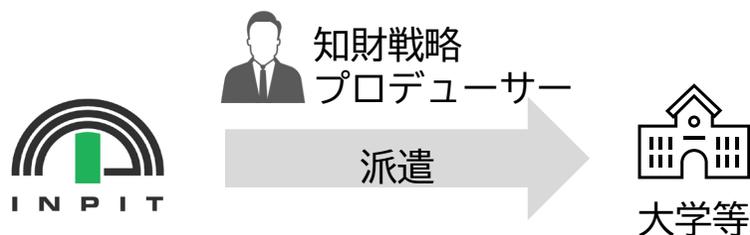


採択型支援

iAca iNat IPAS
IPランドスケープ支援事業

iAca（大学等の研究成果の社会実装に向けた知財支援事業）

- 国内の大学、高専、国立試験研究機関（以下「大学等」という。）の研究成果の迅速な社会実装を支援することで、イノベーションの実現を目指す
- 知的財産マネジメントの専門家である「**知財戦略プロデューサー**」を大学等に派遣
- 研究ステージの初期段階におけるシーズ発掘と出口戦略の策定の支援（**スキーム①**）から、優れたシーズの事業化に向けた産学連携活動の支援（**スキーム②③**）まで、シームレスな支援を実現

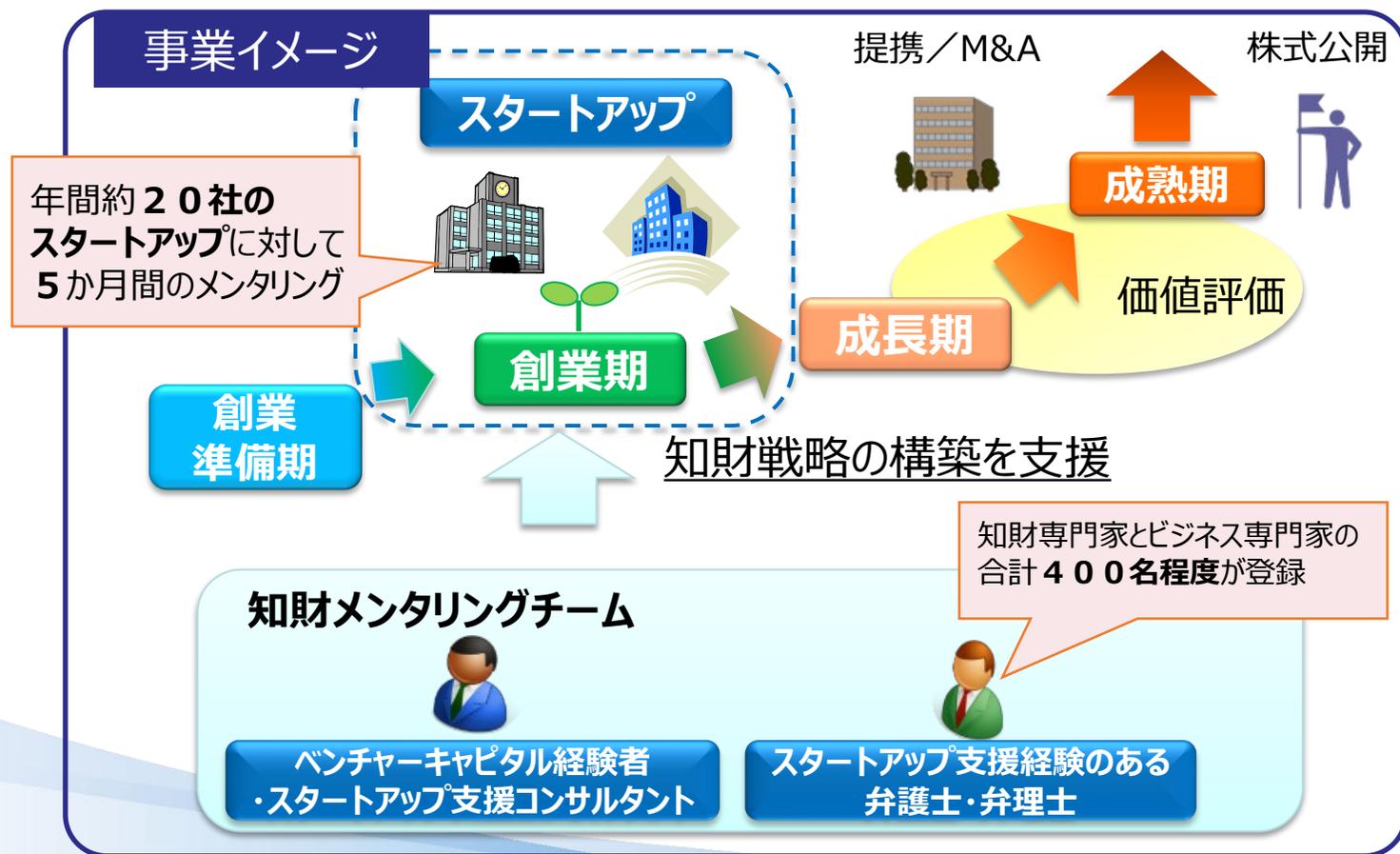


※共同研究受入額が年間1000万円以上

- ✓ 支援期間は**約10カ月**。連続した継続支援も可能
- ✓ 必要な日数分だけ、柔軟な支援が可能（支援期間ごとに最大25～30日）
- ✓ 支援開始時に支援計画を作成。継続支援には支援計画の達成が必要

知財アクセラレーションプログラム (IPAS: IP Acceleration program for Startups)

- スタートアップに対し、ビジネスの専門家と知財専門家からなる知財メンタリングチームが適切なビジネスモデルの構築とビジネス戦略に連動した知財戦略の構築を支援。
- チームとすることで、スタートアップ経営と知財が両方わかる専門家育成も期待。
- プログラムの広報を通じて、スタートアップコミュニティに知財を啓発。



総事業費と成果
(2018-2023年)

総事業費 約5億円に対し

IPASで支援したスタートアップ
104社

支援後の総資金調達額 (*1)
583億円

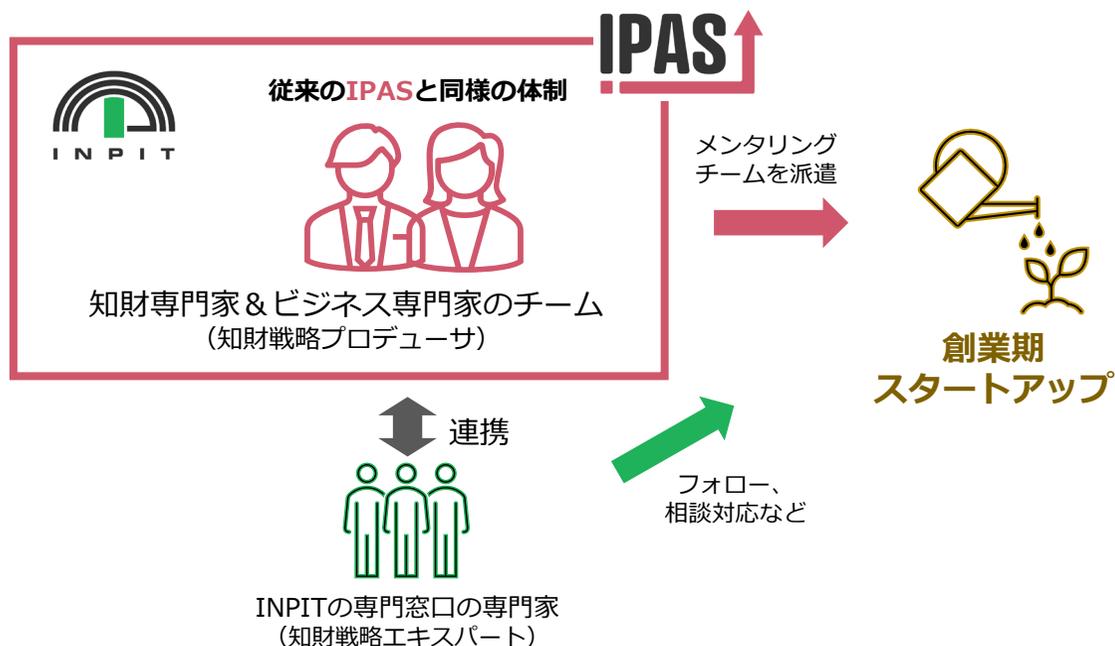
支援後の特許出願件数 (*2)
664件

(*1) 2024年1月18日時点 (*2) 2024年2月13日時点



令和6年度より IPASはINPITへ移管し 同様の支援を実施

■ 令和6年度以降



■ 主な変更点



INPITの支援体制との連携
知財戦略エキスパートによる
フォロー、相談対応が可能な
体制に



採択頻度増加
年に2回の採択チャンス！
申請はWebサイトから
常時受付可能に

知財専門家とビジネス専門家のチームを派遣する基本は変わらず、今後もIPAS事業を実施し続けます。

ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣事業 (VC-IPAS)

- 知財アクセラレーションプログラム (IPAS) では、知財専門家及びビジネス専門家からなる知財メンタリングチームをスタートアップに派遣することにより、事業戦略に連動した知財戦略構築等を支援してきた。
- 一方、スタートアップの多くは、VCからビジネス面の助言やハンズオン支援を受けており、**VCが事業計画も踏まえた知財戦略策定支援を合わせて実施できれば、効率的なスタートアップへの支援が期待できる。**
- しかしながら、VCによっては、ビジネス目線を踏まえた知財戦略構築支援の知見が十分に蓄積されているとはいえないことから、**VCを公募し、採択されたVCに対して知財専門家を派遣することにより、VCのキャピタリストと知財専門家が協働して、スタートアップに対して知財面からも支援を行えるようにする。**

